

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 4 月 26 日現在

機関番号：37105

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010～2012

課題番号：22530294

研究課題名（和文）社会関係資本が経済発展におよぼす影響の国際比較

研究課題名（英文）International comparative analysis of influence of social capital on economic development.

研究代表者

山村 英司（Yamamura Eiji）

西南学院大学・経済学部・教授

研究者番号：20368971

研究成果の概要（和文）：コミュニティの発達度合いや人々間の信頼関係などをあらわす社会関係資本（Social capital）が社会経済にどのような影響を与えるかを考察した。個人レベルのデータに基づいた分析結果から、社会関係資本は、個人の選挙参加を促すことや所得分配政策への支持度合いを高めることがわかった。また、居住地域の構造などによって、個人のコミュニティへの参加程度に違いが生じることが分かった。ただし、これらの効果は個人の属性などによって変化する可能性がある。

研究成果の概要（英文）：This paper investigates effect of social capital which is defined as degree of community participation and trust on social and economic condition. Based on the individual level data, results of estimation suggested that social capital enhances the community participation and leads people to prefer income redistribution policy. Further, the degree of community involvement depends on the structure of the residential place. These effects, however, varied according to individual's characteristics.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	500,000	150,000	650,000
2011年度	500,000	150,000	650,000
2012年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	1,900,000	570,000	2,470,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経済学・経済政策

キーワード：社会関係資本、経済発展、国際比較

### 1. 研究開始当初の背景

近年、人間の信頼関係などを含む社会関係資本（Social capital）と経済発展の関係が注目されている。現在のところ、研究者の間で社会関係資本が経済発展に正の効果をもたらすのかについて意見が分かれている。社会関係資本の効果は、それぞれの社会が置かれた状況に依存するように思われるが、この点について厳密な検証が先行研究では不足し

ている。とりわけ、日本では体験的あるいは理念的な研究は存在するものの、社会関係資本の効果を厳密な統計的手法により分析する研究は数少ない。

### 2. 研究の目的

本研究では、主に個票レベルのデータを利用することにより、社会関係資本がどのように人間の意識や行動とかかわっているかを、世

界各国の制度的基盤（法律、歴史、文化）の違いに着目しつつ明らかにする。これにより、社会関係資本が経済発展を促す上で必要となる条件を考察する。

### 3. 研究の方法

(1) 日本の J G S S (Japan General Social Survey) により得られる個人レベルデータと各都道府県別データの統合を行う。これにより、地域レベルの社会関係資本が個人の幸福度、所得分配政策への支持度合いなどを分析する。

(2) 一方で、国際データは World Value Surveys により得られる個人レベルのデータと各国のマクロレベルのデータを統合して、日本の研究と同様の分析を進める。

### 4. 研究成果

(1) Social capital(社会関係資本)が所得分配にどのような効果をもつかについて統計分析を行い、この研究結果は European Journal of Political Economy に掲載された。主要な結果は、下記の図1（縦軸は所得分配政策への支持度合いで値が大きいほど所得分配政策を支持することを示す。横軸は社会関係資本の大きさを示す）によって簡単にあらわすことができる。

今後はこの研究を発展させるために、同様の手法により、ヨーロッパ諸国と日本における社会関係資本の効果の違いを分析していく予定である。

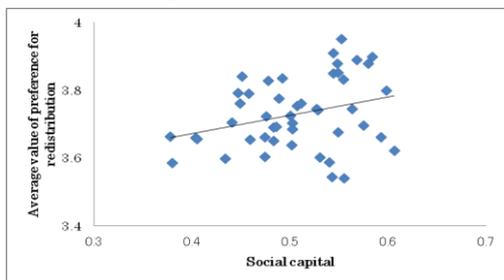


図 1

(2) 経済学の投資理論モデルを適用することにより、社会関係資本への投資行動を分析した。具体的には、調査時点での居住地域での居住年数や近隣住民の特徴により、人々は町内会活動などへの参加頻度が変化することが分かった。また、本人の特徴よりも周辺住民の特徴の効果が大きいことも明らかになった。したがって、個人が置かれた生活環境が Social capital 形成に大きな役割を果たすことが分かった。図2はこの関係を示したものである（町内会活動などへの参加頻度。横軸はそれぞれの地域の持ち家比率を示す）によって簡単にあらわすことができる。

この研究成果は、社会学や心理学などの諸

分野で進められてきた先行研究を、経済学的な枠組みの中で分析を加えた点に貢献がある。

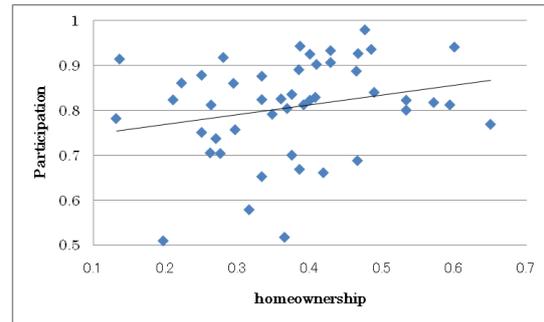


図 2.

これらの結果は、Journal of Socio-Economics、Economics Bulletin、International Advances in Economic Research などの査読付き国際学術誌に発表された。

(3) 社会関係資本が負の外部性をどの程度抑制するかを分析するために、社会関係資本が喫煙行動に与える効果を分析した。その結果、コミュニティへの関わりが強いほど、喫煙行動が抑制され (Japan & World Economy 誌) されることがわかった。

また、社会関係資本が政治行動へ与える効果も分析している。選挙への投票行動が積極的になる (Applied Economics 誌) ことも明らかになった (カッコ内は掲載された国際学術誌の名前)。以上の結果は、個人の意識決定は周囲の人間関係から独立して決まるものではないことを意味する。

これまで日本において、Social capital の機能を実証的に分析した研究はほとんどなかった。上記の研究成果は、海外における Social capital の実証分析結果との比較をするうえで、非常に重要な意義を持つと考えられる。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 20 件)

- ① Yamamura, E. 2012. "Government Size and Trust." *Review of Social Economy* 70(1), 31-56. (査読あり)
- ② Yamamura, E., 2012. "The effect of social trust on achievement test performance of students in Japan,"

- Applied Economics Letters*, 19(7), 645-648. (査読あり)
- ③ Yamamura, E. 2012. "The death toll from natural disasters: the role of income, geography and institutions: Comment," *Economics Bulletin* 32(2), 1545-1554. (査読あり)
- ④ Yamamura, E. & Shin, I. 2012. "Heterogeneity, trust, human capital and productivity growth: decomposition analysis," *Journal of Economics and Econometrics*, 55(2), 51-77. (査読あり)
- ⑤ Halicioglu, F., Andrés, A. R., and Yamamura, E. 2012 "Modeling Crime in Japan," *Economic Modeling* 29(5), 1640-1645. (査読あり)
- ⑥ Yamamura, E., Andrés, A. R., Katsaiti, M. S. 2012. "Does corruption affect suicide? Econometric evidence from OECD countries," *Atlantic Economic Journal* 40, 133-145. (査読あり)
- ⑦ Yamamura, E. 2012. "Groups and information disclosure: Olson and Putnam Hypotheses." *International Journal of Social Economics*. 39(6), 423-439. (査読あり)
- ⑧ Yamamura, E. 2012. "Social capital, household income, and preferences for income redistribution," *European Journal of Political Economy* 28(4), 498-511. (査読あり)
- ⑨ Yamamura, E. 2011. "The role of social trust in reducing long-term truancy and forming human capital in Japan," *Economics of Education Review* 30(2), 380-389. (査読あり)
- ⑩ Yamamura, E. 2011. "The effects of the social norm on cigarette consumption: evidence from Japan using panel data," *Japan & World Economy* 23(1), 6-12. (査読あり)
- ⑪ Yamamura, E. 2011. "Effects of social norms and fractionalization on voting behavior in Japan," *Applied Economics* 43 (11), 1385-1398. (査読あり)
- ⑫ Yamamura, E. 2011. "Homeownership and investment for social capital in Japan: Dynamic Panel approach," *Economics Bulletin*, 31(3), 2250-2259. (査読あり)
- ⑬ Yamamura, E. 2011. "How are social ties formed? : Interaction of neighborhood and individual immobility.," *Journal of Socio-Economics* 40 (5), 472-474. (査読あり)
- ⑭ Yamamura, E. 2011. "Different effects of social capital on health status among residents: evidence from modern Japan.," *Journal of Socio-Economics*, 40 (5), 475-479. (査読あり)
- ⑮ Yamamura, E. 2011. "Comparison of the effects of homeownership by individuals and their neighbors on social capital formation: Evidence from Japanese General Social Surveys," *Journal of Socio-Economics*, 40 (5), 637-644. (査読あり)
- ⑯ Andrés, A. R., Halicioglu, F., and Yamamura, E. 2011. "Socioeconomic determinants of suicide in Japan," *Journal of Socio-Economics*, 40 (6), 723-731. (査読あり)
- ⑰ Yamamura, E. 2011. "How do neighbors influence investment in social

capital? : Homeownership and length of residence,” *International Advances in Economic Research*, 17(4), 451-464.

(査読あり)

⑱ Yamamura, E. 2011. “Differences in the effect of social capital on health status between workers and non-workers,” *International Review of Economics*, 58(4), 385-400. (査読あり)

⑲ Yamamura, E. 2010. “The different impacts of socio-economic factors on suicide between males and females,” *Applied Economics Letters* Vol. 17(10), 1009-1012. (査読あり)

⑳ Yamamura, E. 2010. “Effects of Interactions among Social Capital, Income and Learning from Experiences of Natural Disasters : A case study from Japan,” *Regional Studies* 44 (8), 1019-1032. (査読あり)

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

山村 英司 (Yamamura Eiji)  
西南学院大学・経済学部・教授  
研究者番号 : 20368971

### (2) 研究分担者

なし ( )

研究者番号 :

### (3) 連携研究者

なし ( )

研究者番号 :